

総合戦略に係る平成28年度実績に基づくKPIの見直しについて

平成28年度総合戦略に係る事業の実績値の取りまとめた結果については、2年目の実績値であり昨年度から更に上昇と減少に差が開いている。昨年同様、既に目標値を達成したものについては、内容精査の上、一部上方修正を行い更なる事業拡大を行う。目標値に近づかず乖離してしまっている事業については、昨年度とほぼ同様の6つのKPIがあった。2年目の実績であることから、昨年同様に事業の内容や趣旨、または事業開始時期や現状を勘案した見直しを行うこととし、KPIの下方修正は行わないものとする。

●目標値を達成したKPI（進捗率100%超え）

数値目標/KPI	進捗率	今後の方針
①市内民間従業者数（人）	112.3%	現状維持
②市内民間事業所数（事業所）	114.7%	現状維持
③男女共同参画「みんなのつどい」参加者数(人)	250.0%	現状維持
④高齢者サロン数（箇所・地区）	250.0%	上方修正
⑤はつらつ館利用者数（人）	122.3%	現状維持
⑥地域コミュニティ推進事業取組数（累計）（行政区）	133.3%	上方修正

①②「市内民間従業者数（人）」「市内民間事業所数（事業所）」については、KPIは達成しているが、目標値の根拠としては、人口減少する中で現状値を維持することを目標値としているため、上方修正は行わず現状値を維持していく。

また、数値の出典元は「経済センサス」であるが、「経済センサス基礎調査」と「経済センサス活動調査」があり、基礎調査は平成21年・26年に実施、活動調査は平成24年・28年に実施されている。毎年行われる調査ではないことや、現状値に設定した数値が平成24年の調査結果を使用しているため、それを基準に調査の行われた直近の数値を報告することとする。

③「男女共同参画「みんなのつどい」参加者数(人)」については、一昨年度は長渕悦子氏の講演会、昨年度は近藤典子氏による講演会によって大きな数値となったが、毎年300人を目標とするためKPIは現状維持とする。

④「高齢者サロン数」については、高齢化社会に対応するため、今後も整備を促進していくことから、上方修正を行う。なお、平成29年度に1地区新設され、2地区から立ち上げの相談を受けていることから、3か所増の27箇所・地区としたい。

○当初目標値：15箇所・地区 → 改訂後目標値：27箇所・地区（H28実績：24箇所・地区）

⑤「はつらつ館利用者数」については、高齢者数が増加しKPIも達成はしたものの、過去の利用者数を見ると増減の幅が多い。また、累計値でないことも勘案し現状維持としたい。

⑥「地域コミュニティ推進事業取組数」については、平成30年度で補助事業が終了する予定であるが、目標値を超え平成30年度まで事業が行われることから、2行政区増の27行政区としたい。

○当初目標値：23行政区 → 改訂後目標値：27行政区（H28実績：25行政区）

●目標値から乖離したK P I（進捗率がマイナス）

数値目標／KPI	平成26年度	平成28年度
①0-4歳人口（人）	1,160人 →	1,076人
②婚姻数（件）	397件 →	369件
③地域等の外部人材を活用した授業、講座数(回)	345回 →	308回
④行政区加入率（%）	76.1% →	74.7%
⑤JR矢板・片岡駅乗降者数（人）	2,638,950人 →	2,599,530人
⑥市営バス乗降者数（人）	21,732人 →	21,651人

①②両K P Iともに、減少傾向が社会問題になっているが、市人口ビジョンの目標達成や矢板市の将来を考えると下方修正は行えない。若い世代への支援や子育て支援サービスの充実を図るためにも、目標値は現状維持とする。

③地域人材との日程調整等に課題があり目標値に近づけていないが、人材がない等の理由が原因ではないので、目標値は現状維持とする。

④行政区加入率については、若年世帯の未加入や高齢世帯の脱退、また、世帯分離によって世帯数が増加しているため、加入率が減少となっている。今後、人口が減少する中で地域のコミュニティは重要になってくるため、目標値は現状維持とする。

⑤人口減少に伴い利用者の減少が見られるが、片岡駅については整備後、増加傾向にあるため現状維持とする。

⑥市営バス乗降者数については、一昨年度に目標値を達成したため目標値を1,000人の増とした。今年度より高齢者の無料バス事業も開始されたため、現状値とする。